

観察記録ノート

哺乳類

長野県大鹿村における ヤマネの観察記録

四方 圭一郎

澤島 (2000) は、伊那谷でのヤマネ *Glirulus japonicus* (Schinz, 1845) の記録として、2ヶ所での観察記録を報告している。

筆者は、大鹿村で越冬中の本種を観察する機会があったので、分布及び越冬環境の記録として報告する。



図1 ヤマネの越冬環境 (←部分)



図2 朽ち木内で越冬するヤマネ

1ex. 大鹿村安康 (標高990m), 10. XI. 1999, 宇野彰氏発見。

小波川水系青木川上流の川沿いでヤナギ類などの広葉樹の生えた溪畔林内の、直径約10cm、高さ1mほどの種名不明の広葉樹の立ち枯れの内部で発見した (図1, 図2)。この朽ち木を昆虫採集のため崩したところ上部から10cmほどのところの朽ち木の中で丸くなっていた本種が姿を現した。発見時は呼吸数も少なく越冬状態であると思われた。朽ち木は手で崩せるほどの柔らかさであった。越冬していた部分にはツリバナの実が数個みられたが、本個体が持ち込んだものかどうかは不明である。

調査に同行して下さった宇野彰氏、中峰空氏にお礼申しあげる。

引用文献

澤島拓夫, 2000, 下伊那郡上村および伊那市西箕輪でヤマネを目撃. 伊那谷自然史論集, 1, 31-34.

(しかた けいいちろう/飯田市美術館)

昆虫類

長野県内のムカシトンボ 成虫の採集記録

四方 圭一郎

ムカシトンボ *Epiophlebia superstes* (Selys, 1889) は長野県内に広く分布しているが、成虫の採集記録は意外に少ない (信州昆虫学会編, 1977)。

飯田市美術館には、県内2ヶ所で採集されたムカシトンボの成虫の標本があるので、分布資料として報告しておく。

ムカシトンボを採集し、飯田市美術館へ御寄贈下さった、北沢正和、永幡嘉之の両氏にお礼申しあげる。

1♀, 下伊那郡浪合村蛇峠山 (標高1640m), 16. IV. 1996, 北沢正和氏採集・飯田市美術館保管。
蛇峠山の山頂付近の、ササが生えた明るい草原状の場所で得られた個体。